

オイルクーラーブラケット 取扱説明書

製品番号	00-07-0173 (オイルクーラーブラケット) 00-07-0126 (カラーセット)
------	--

適応車種	KSR110 (KL110A-000001 ~)
適応条件	スーパーヘッド 4VALVE+R (FCR28 ダウンドラフト専用キット) 装着車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎弊社オイルクーラー及び取り出しが別途必要になります。

～特徴～

- KSR110 にスーパーヘッド 4VALVE+R (FCR28 ダウンドラフト) を装着した車両専用のオイルクーラーステーキットです。
既に KSR110 用オイルクーラーステーセットをお持ちの場合はカラーセットを取り付けて下さい。
- KSR110 に、コンパクトクーラーを取り付ける事の出来るキットです。
- 弊社製キャブレターキットを取り付けた際に、左シュラウドステーの役目しか果たしていない純正エアクリーナーボックスを取り外し、空いたスペースにオイルクーラーを取り付け出来ます。
また、オイルクーラーステーから左シュラウドを固定するステーも備えていますので、純正エアクリーナーボックスを取り外しても、シュラウドがバタつくような事はありません。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	部品名	数量	リペア品番
1	オイルクーラスター 1	1	
2	オイルクーラスター 2	1	00-00-1442
3	クッションラバー	2	00-00-0099 (4 ケ入り)
4	カラー	2	00-00-0476
5	アルミカラー 6.3x22x6	2	00-00-1565
6	アルミカラー 6.3x18x9	3	15671-165-T00
7	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x25	2	00-00-0126 (5 ケ入り)
8	ソケットキャップスクリュー 6x25	3	00-00-0722 (5 ケ入り)
9	ソケットキャップスクリュー 6x12	1	00-00-0717 (5 ケ入り)
10	プレーンワッシャ 6mm	4	00-00-0086 (10 ケ入り)
11	フランジナット 6mm	2	00-00-0173 (6 ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
お願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●作業を始める前に

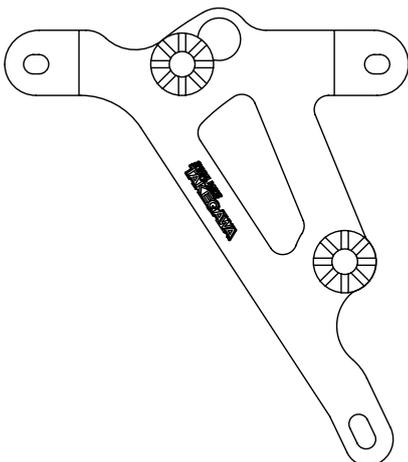
○キット内容をご確認下さい。

○車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させて下さい。

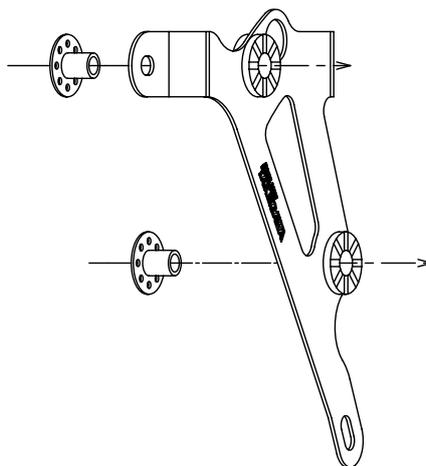
●オイルクーラーの組み立て

※L. シュラウドの取り付けのみで使用される場合は、下記の作業は不要です。

○①オイルクーラスター1に、③クッションラバーを取り付けます。
上側の取り付け穴は、TAKEGAWA ロゴから近い方の穴に取り付けて下さい。



○④カラーを、①オイルクーラスター1裏面より差し込みます。



○①オイルクーラスター1の裏面より、⑦ボタンヘッドソケットスクリュー 6x25 を通し、⑤アルミカラー 6.3x22x6 を挟んでから、コンパクトクーラー（以下オイルクーラー）を取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●オイルクーラーステーの取り付け

- 車両の左シュラウドを取り外し、純正エアリーナーボックスを取り外します。
- ⑧ソケットキャップスクリュー 6x25 2本に⑩プレーンワッシャ 6mmを通し、①オイルクーラーステー 1に通してから⑥アルミカラー 6.3x18x9を挟み、車両に取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

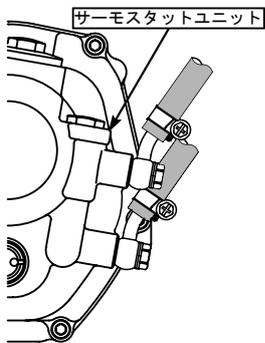
●オイルクーラーの取り付け

～ダイカストクラッチカバーに
オイルホースを接続する場合～

- クラッチカバーのオイル取り出し部のブラインドプラグを取り外し、バンジョーボルト A M10x1.25(ショート)に、アルミシーリングワッシャ 10mm、バンジョー M10(30°)、アルミシーリングワッシャ 10mmの順で通し、仮付けします。

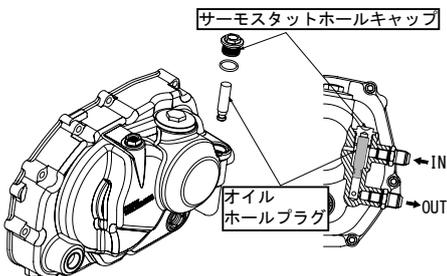


- (サーモスタットユニットを取り付ける場合) ホールキャップを取り外し、サーモスタットユニットを取り付けます。
※サーモスタットユニット取扱説明書をご確認下さい。



- (サーモスタットユニットを取り付けない場合) サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



- オイルホースを適当な長さに切断し、ホースクランプを通してから、バンジョー 14mm、バンジョー M10(30°)に差し込みます。
- オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、各バンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。
どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意して頂き、干渉部分を保護して下さい。
- バンジョーボルト A M10x1.25(ショート)、バンジョーボルト M12x1.0を規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M12x1.0
トルク：24.5N・m (2.5kgf・m)
バンジョーボルト M10x1.25(ショート)
トルク：13～15N・m (1.3～1.5kgf・m)

⚠注意：バンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、バンジョーを固定しながら行って下さい。

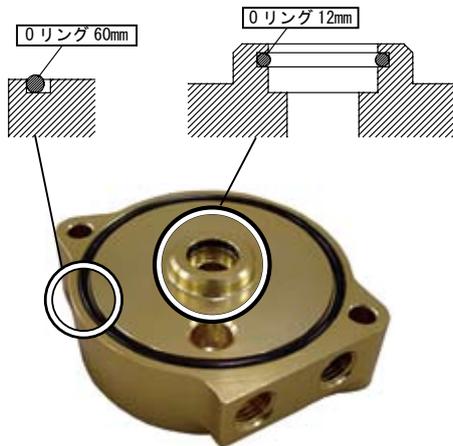
- 結束バンドで、ホース同士を束ね、ホースの動きを規制します。

※オイルホース取り回し例

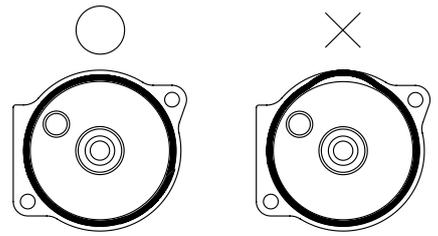


～オイルフィルターアダプターを装着し、
オイルホースを接続する場合～

- エンジンオイルを抜き取ります。
- オイルフィルターキャップボルトを取り外し、オイルフィルターキャップを取り外します。
- クランクケースとオイルフィルターキャップの間にオイルフィルターアダプターを取り付けます。
オイルフィルターアダプターにキット内の二種類のOリングを取り付けます。



※Oリング 60mmを取り付ける際、溝の外側にOリングがはみ出さないように注意して下さい。



・クランクケースのオイル通路(写真)にオイルを薄く塗布し、オイルフィルターアダプターを取り付けます。



・オイルフィルターキャップをソケットキャップスクリュー 6x40を使用して取り付けます。
※オイルフィルターキャップに取り付けるOリング、スプリングは純正を再使用します。
※Oリングの取り付けは、溝の外側にOリングが、はみ出さないように注意して下さい。



- バンジョーボルト M10x1.25にアルミシーリングワッシャ 10mm、バンジョー 10mm(ストレート)、アルミシーリングワッシャ 10mmの順で通し、オイルフィルターアダプターに取り付けて仮締めします。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○オイルホースを適当な長さに切断し、ホースクランプを通してから、オイルクーラー側のユニオン、オイルフィルターアダプターのバンジョーに差し込みます。

○オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、オイルクーラー側のユニオン及びオイルフィルター側のバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意して頂き、干渉部分を保護して下さい。

○オイルクーラー側のバンジョーボルト、オイルフィルター側のバンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト（オイルクーラー側）

トルク：24.5N・m（2.5kgf・m）

バンジョーボルト（オイルフィルター側）

トルク：13～15N・m（1.3kgf・m）

▲注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

○結束バンドで、ホース同士を束ね、ホースの動きを規制します。

※オイルホース取り回し例



～シリンダーヘッドとクランクケースの間にオイルホースを接続する場合～

○オイルホースを適当な長さに切断し、両端にホースクランプを通してから、オイルクーラー側のユニオンと、クランクケース及びシリンダーヘッドに取り付けたバンジョーに差し込みます。

○オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、オイルクーラー側ユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。

※オイルホース取り回し例



前方-右



前方-左

○オイルクーラー側バンジョーボルト、エンジン側バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト（オイルクーラー側）

トルク：24.5N・m（2.5kgf・m）

バンジョーボルト（エンジン側）

トルク：12N・m（1.2kgf・m）

▲注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

○結束バンドで、ホース同士を束ね、車体やエンジン等に干渉する事が無い様にホースの動きを規制します。

どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意頂き、干渉部分を保護して下さい。

又、ノーマルマフラー等のアップタイプマフラーと合わせて装着する場合は、オイルホースがエキゾーストパイプと接近しやすい為、走行時に干渉しないように十分注意してホースを固定して下さい。

●L. シュラウドの取り付け

○⑨ソケットキャップスクリュー 6x12 に、⑩プレーンワッシャ 6mm を通し、②オイルクーラーステー 2、純正シュラウドブラケットの順に通し、⑪フランジナット 6mm で仮付けします。



○次に、⑨ソケットキャップスクリュー 6x12 に、⑩プレーンワッシャ 6mm、先程組み立てた②オイルクーラーステー 2、①オイルクーラーステー 1 の穴を通してから、⑪フランジナット 6mm で仮付けします。



○L. シュラウドの、燃料タンク側のスクリューを仮止めてから、先程仮止めたシュラウドブラケットの位置を調整し、L. シュラウドをスクリューで固定します。

○②オイルクーラーステー 2 及び、シュラウドブラケットのソケットキャップスクリューを固定します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ソケットキャップスクリュー

トルク：9N・m（0.9kgf・m）

●最終確認

○ステアリングを左右一杯に切り、取り付けたいオイルクーラーが、フロントフォーク等や車体と干渉しないか確認します。

●弊社製オイルクーラー及びリペアパーツ

～オイルクーラー～

コンパクトクーラー	3フィン	00-07-0124
	4フィン	00-07-0104



～リペアパーツ～

シリンダーヘッドとクランクケース間用
フィッティングセット
09-071-064



オイルフィルターアダプター用
フィッティングセット
00-07-0147



ダイカストクラッチカバー用
フィッティングセット
00-07-0035



オイルクーラー用
バンジョーセット
00-07-0047



オイルフィルターアダプター
00-07-0138



ラバーホースセット
00-07-0011



オイルホールプラグ
00-02-0391

